

神山財団 芸術奨学プログラム

2022 年 募集要項

神山財団は、2014 年より芸術分野の大学院へ通う学生向けの奨学金プログラムを発足しました。これは、当財団の事業内容の 1 つである「文化の向上・芸術の振興に貢献でき、芸術が本来持つ”癒し”を追究する人材の育成事業」に基づき、次世代の才能溢れる人材を奨学するプログラムです。

1. 応募要件

- ・ 全国の大学院で美術作品を制作している、修士課程 1 年生であること
- ・ 絵画を制作していること(油画・水彩画・日本画・アクリル画・テンペラ画・フレスコ画・版画など。)
- ・ 将来的に美術を通じて日本社会の発展に貢献する志を持っていること
- ・ 当財団主催の成果展に出展すること
- ・ 奨学生に認定された後、自身のプロフィールに「当財団からの支援経歴」を記載すること
- ・ 2022 年 4 月 1 日時点で 35 歳未満であること

2. 募集人数

- ・ 2022 年度 20 名程度(大学院 1 年生のみ)を募集対象とする。

3. 本奨学金の目的

美術大学院在学中において絵画の勉学に集中し、将来の糧となる知識と経験を取得できるようサポートする。(絵画の勉学に関わる内容であれば、使用用途に制限は設けない)

4. 給付金額と時期

- ・ 給付金額は年間 20 万円。年 1 回の一括支給にて、2 年間を限度とする。
※原則、返済の義務はない。(補足事項)を参照
- ・ 奨学金支給開始: 2022 年 9 月頃 (当財団が指定する日)

(補足事項)

以下の事項に該当する場合、理事会の決議により奨学金支給を停止および返還を求めることがあります。

- ① 本奨学金の目的以外の用途に使用した場合
- ② 病気その他の事由により大学院在籍の継続が困難になった場合
- ③ 指導教授から就学又は研究の継続に不適格と認められた場合
- ④ 当財団の奨学生としての名誉を傷つけたと認められるような行為をした場合
- ⑤ その他、奨学金受給にふさわしくない奨学生となった場合

5. 応募方法

本募集要項を事前に確認の上、Web サイトでフォームをダウンロードしていただき、フォームに必要な事項を記載して送信して下さい。

- ・ 当財団 Web サイトよりフォームをダウンロードし、必要事項をご記入の上、その他必要書類を含め提出してください。

6. 提出書類

- ① 履歴書(web サイトよりフォームをダウンロード)
 - ② 小論文(web サイトよりフォームをダウンロード/最低 400 字～1,200 字以内)
 - ③ 成績表(大学 4 年生時の成績表を提出/サイズ: 1MB 以内、形式: PDF にて)
 - ④ 絵画作品画像 2 点(画像ファイルをアップロード)
- ※ 各作品のコンセプト(主題・属性)を記載すること
 - ※ 自身のポートフォリオを Web に掲載している場合は、その URL も記載すること(任意)
 - ※ 紙媒体では受け付けません
 - ※ 絵画作品の写真を画像ファイルで提出すること
 - ※ 画像ファイルのサイズは、1 点につき 1MB 程度(最大 1.5MB 以内)、形式: jpg、bmp のいずれかにすること

(確認事項)

- ・ 今回の応募にあたって取得した個人情報と作品情報につきましては、当財団の奨学支援にかかわる目的以外に使用することはありません。(支援の一環として開催する合格者 Party の自己紹介用に、作品の写真を用いる可能性があります。)
- ・ 応募提出書類の書き方、その他必要書類の準備については、提出書類一覧の「応募書類を提出するにあたって(ガイド)」を必ずご確認ください。

7. 受付期間

2022 年 5 月 6 日(金)～6 月 16 日(木)17:00

8. 選考方法

応募書類をもとに、選考委員による書類審査を実施いたします。

- ◇ 書類選考の結果通知 : 2022 年 8 月 5 日(金)にメールで通知
合格者には後日、合格証も書面でお送りします。併せ、その後の手続きなどについてご案内いたします。

9. 書類提出先

神山財団 芸術支援プログラム web サイト「<https://www.kamiyama-f.jp/art/>」

10. 本件に関するお問合せ先

一般財団法人神山財団 事務局

〒225-0003 横浜市青葉区新石川 1-4-2-201

E-mail: info@kamiyama-f.jp

以上

KAMIYAMA

美術系大学院生対象

芸術支援プログラム

● 応募期間 2022年5月6日(金)～6月16日(木) 17:00まで

詳しくは ... www.kamiyama-f.jp/art/

神山財団 芸術支援プログラム

検索

QRコード



文化の向上・芸術の振興に貢献でき、芸術が本来持つ“癒し”を追究する次世代の才能溢れる人材の育成を目的として、全国の美術大学等で絵画を制作している大学院生を対象に奨学支援するプログラムです。

支援内容

- ◆ 奨学金支給による支援（1年間 20万円、2年間合計40万円を限度とする）
- ◆ 当財団主催の成果展出展資格の付与（奨学金とは別に、出展作品にアワードを設ける予定）

応募概要

応募期間 2022年5月6日(金)～6月16日(木) 17:00 まで

結果発表 2022年8月5日(金) *書類選考結果発表・合格者通知

提出書類

- 履歴書 (web サイトよりフォームをダウンロード)
- 小論文 (web サイトよりフォームをダウンロード/最低 400 字～1,200 字以内)
- 成績表 (大学 4 年生時の成績表を提出/サイズ: 1MB 以内 形式: PDF)
- 絵画作品画像 2 点 (画像ファイルをアップロード)

※各作品のコンセプト (主題・属性) を記載すること
※自身のポートフォリオを web サイトに掲載している場合は、URL も記載すること (任意)
※紙媒体では受け付けません
※絵画作品の写真を画像ファイルで提出すること
※画像ファイルのサイズは、1 点につき 1MB 程度 (最大 1.5MB 以内)
形式: jpg、bmp のいずれかにすること

5/6 (金) からエントリー可能になります。

詳しくは神山財団 web サイトの
芸術支援プログラムをご覧ください。

www.kamiyama-f.jp/art/

神山財団 芸術支援プログラム

検索

QR コード



日本の明るい未来のために、才能溢れるみなさんが
文化・芸術分野で大いに活躍できるよう、この奨学金
制度を活用していただければ幸いです。

神山財団 理事長

神山治貴

(マクニカ・富士エレ ホールディングス株式会社 名誉会長)

神山財団について

法人名	一般財団法人 神山財団 (http://www.kamiyama-f.jp)
設立日	2013年1月17日
趣旨	健全な社会づくり、経済の発展、文化の向上・芸術の振興に、グローバルな視野で貢献できる人材を育成することにより、明るい未来の発展に寄与する
事業内容	(1) 健全な社会づくりに貢献できる人材の育成事業 (2) 経済発展に貢献できる人材の育成事業 (3) 文化の向上・芸術の振興に貢献できる人材の育成事業 (4) その他前各号に附帯関連する事業 (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【理事長プロフィール】

マクニカ・富士エレ ホールディングス株式会社 名誉会長
(株式会社マクニカ 創業者)
一般社団法人神奈川ニュービジネス協議会 名誉会長
公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会 副会長



理事長 神山 治真

【ご挨拶】

神山財団は、私が株式会社マクニカを創業してから今日に至るまでの経験を踏まえて、何か少しでも社会へ還元できないかと考え、かねてより構想していたことが実を結び、設立に至りました。

今、私たちがしなければならないことの一つは、明るい未来をつくるために、グローバルな視野で社会に貢献できる、次代を担う人材を育成することと考えております。

微力ながら、私たちはその使命の一翼に貢献すべく活動してまいる所存です。

また、このような活動を通して、明るい未来の発展に寄与できることを願っています。

事業活動

海外留学奨学金制度

世の中に新しい価値を生み出し、将来リーダーとなるべき人材を育てることを目的として、海外のビジネススクールや公共政策大学院、ロースクール等に留学する社会人の方を対象に、奨学支援する制度です。

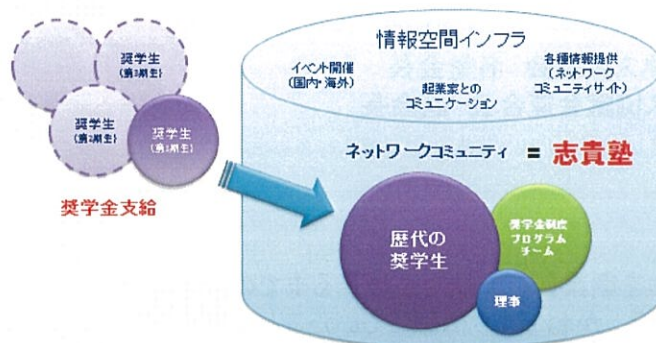
2013年より、書類審査、面接審査を経て、毎年5名程度の奨学生を輩出しています。

- ✓ 奨学金支給による支援(¥100万/年 x2年間を限度)
- ✓ 卒業した奨学生を中心としたネットワークの構築(志貴塾)

志貴塾

神山財団 海外留学奨学金制度のOB/OG会を「志貴塾」と命名し、海外留学奨学金制度を運営している当財団理事・アドバイザーと、留学プログラムを終了した歴代の奨学生が集い、切磋琢磨していくネットワークコミュニティを形成しています。

奨学金支給+ネットワークコミュニティ(志貴塾)



芸術支援プログラム(美術分野)

当財団の事業内容の1つである「文化の向上・芸術の振興に貢献でき、芸術が本来持つ”癒し”を追求する人材の育成事業」に基づき、美術分野において次世代の才能溢れる人材を奨学支援するプログラムです。

2014年より、各分野の専門家を交えた審査員による2回の書類審査を経て、全国の美術大学等で絵画を制作している大学院1年生を対象に、毎年20名程度の奨学生を輩出しています。

- ✓ 奨学金支給による支援(¥20万/年 x2年間を限度)
- ✓ 奨学生卒業後、当財団主催の成果展へ出展する資格の付与(別途アワードあり)

主な活動のご紹介

海外留学奨学金制度

【募集説明会】

応募期間中に、毎年説明会を開催。当財団の主旨説明だけでなく、歴代の奨学生との交流を通じて、海外留学奨学金制度のPRを行っています。

(応募人数:90名程度、合格人数:5名程度)

【6月渡航前 送り出し研修 (日帰り)】

合格発表後の6月に、合格した奨学生と財団メンバーとの日帰り研修を実施。

留学前に同じ時間と各自の目標を共有し、当財団奨学生であることの意識づけと、渡航前の相互理解の場としています。



【海外イベント企画 “KFS Conference” (2泊3日)】

”KFS Conference”と題し、年に1度、2泊3日の海外合宿を実施。

奨学生同士の親交を深め、新たな活力となるような機会を提供することを目的に、留学中の奨学生同士及び当財団メンバーとのディスカッションや、様々な企画で交流しています。

<開催エリア(過去3年)>

第5回(2017年)	アメリカ・シリコンバレー
第6回(2018年)	ポルトガル・リスボン
第7回(2019年)	アメリカ・シリコンバレー

※2年に1度は神山のルーツであるアメリカ・シリコンバレーで開催

※2020年、2021年はコロナ影響によりオンライン開催



奨学生のプレゼンとディスカッションの様子



Networking Dinnerの様子

志貴塾

【国内合宿（1泊2日）】

年に1回、関東近郊にて1泊2日の合宿を実施。テーマを設けたディスカッションや近況報告を通じて、留学卒業後も相互に切磋琢磨し合う場として活動中。



【志貴塾勉強会（半日）】

年に1回、都内でゲストスピーカーによる講演等の勉強会を実施。



芸術支援プログラム(美術分野)

【募集説明会】

全国の美術大学を中心に、毎年春に行われる各校入学オリエンテーション時期に合わせて各学校で説明会を実施。活動の様子を紹介しながら、神山財団の認知度向上と芸術支援プログラムのPRを行っています。(応募人数:50~100名程度、合格人数:20名程度)



【合格者 Party】

審査に合格した奨学生とご協力いただいた各学校の先生や関係者の方々、および財団理事メンバーによる合格者 Party を開催。

理事長から合格証を授与し、当財団奨学生であることの意識づけと各大学の垣根を越えた交流の場としています。



【卒業成果展】

2015 年より秋に年 1 回、卒業 1 年目の奨学生 OB/OG が大学院での学業の成果を披露する場として、当財団主催の展覧会を開催。

作品展示をする機会を提供し、多くの方に作品を見てもらうことで、創作活動のモチベーションに繋げてもらうことを狙いとしています。また、出展した作品から公募形式でアワードを設けています。

<卒業成果展 開催状況>

- ・作品： 一人 1 点 最大サイズ 50 号
- ・展示作品数：約 25 作品（卒業奨学生約 20 名＋前年の卒業成果展受賞作品 4 点）
- ・会場： 第 1～3 回 銀座アートホール
第 4～5 回 Fei Art Museum Yokohama
第 6～7 回 AXIS ギャラリー



【その他交流活動】

奨学生の交流の一環として、勉強会・カジュアルな懇親会を実施。奨学生同志の情報交換の場を提供しています。



【神奈川県美術展 中高生の部への支援】

2014年より、将来を担う若手芸術家支援の一環として、神奈川県美術展 中高生の部への支援を行っています。(神山財団賞の授与、ポスター・図録等の印刷物作成費の補助)



「神山財団 メンバーのご紹介および代表略歴」

◆役員

【理事】

神山 治貴	マクニカ・富士エレ ホールディングス株式会社 名誉会長 (神山財団 理事長(代表理事))
松枝 修	株式会社イープレゼンス 代表取締役社長 (神山財団 芸術支援プログラム統括)
陳野 浩司	元あおぞら銀行 専務執行役員
高乗 正行	株式会社チップワンストップ 代表取締役社長
鳴沢 隆	元株式会社野村総合研究所 副会長
藤浪 啓	株式会社野村総合研究所 上級専門職
神山 洋一郎	株式会社マクニカ 部長
田畑 信子	エゴンゼンダー株式会社 (神山財団 海外留学奨学金制度 プログラム統括)
立石 知永	株式会社マクニカ 名誉会長秘書 (神山財団 事務局長)

【評議員】

小谷 誠	東京電機大学 名誉教授(元学長)
村上 輝康	産業戦略研究所 代表(元株式会社野村総合研究所 理事長)
中島 潔	マクニカ・富士エレ ホールディングス株式会社 代表取締役会長
西口 泰夫	元京セラ株式会社 会長
久保田 政孝	AMW コンサルティング株式会社 取締役会長
安永 謙	株式会社 Global Hands-On VC Founder & Managing Partner 株式会社 Floadia CFO 日本ベンチャーキャピタル協会 フェロー & グローバル部会 部会長
立田 博司	株式会社ポートフォリア 代表取締役社長 (神山財団 志貴塾統括)
寺田 豊計	A2O 株式会社 代表取締役社長

【監事】

渋谷 道夫	公認会計士 渋谷道夫事務所 公認会計士
朝日 義明	ジーピーシー株式会社 代表取締役社長

◆アドバイザー

福富 尚	外資系コンサルティング会社 東京支社 アソシエイト・パートナー (海外留学奨学金制度 第1期生卒業)
松田 弘貴	Sozo Ventures プリンシパル (海外留学奨学金制度 第2期生卒業)
田中 大貴	D-matcha 株式会社 代表取締役社長 (海外留学奨学金制度 第3期生卒業)
各務 太郎	株式会社SEN 代表取締役 (海外留学奨学金制度 第3期生卒業)
前田 拓	株式会社KKR ジャパン プライベート・エクイティ、プリンシパル (海外留学奨学金制度 第3期生卒業)

◆顧問

上野 嘉夫	元株式会社浜銀総合研究所 副社長
保前 泰三郎	元株式会社三愛 会長

◆事務局

立石 知永	株式会社マクニカ 名誉会長秘書
皆川 陽	神山財団事務局
後藤田 絢子	神山財団事務局